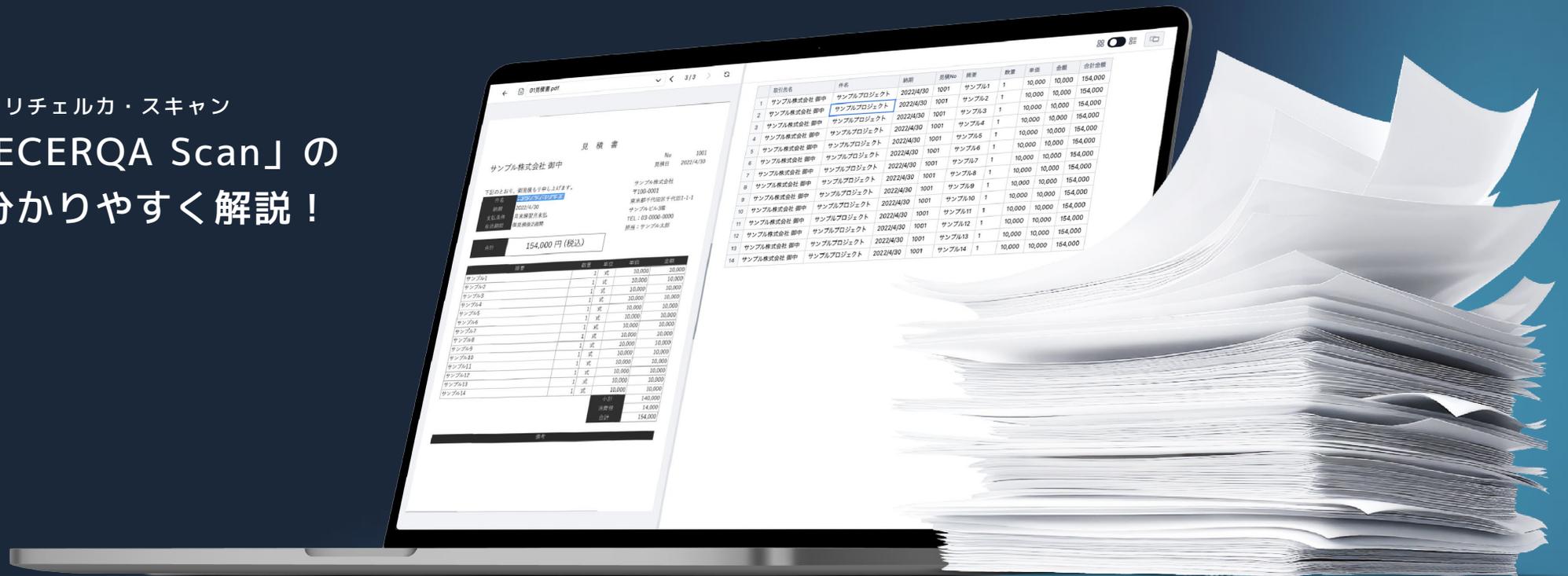


非定型帳票に特化した次世代AI-OCR RECERQA Scan

リチェルカ・スキャン

次世代AI-OCR「RECERQA Scan」の
特長から機能まで分かりやすく解説！



Agenda

1.AI-OCRの基礎知識

2.課題・背景

3. AI-OCR「RECERQA Scan」とは

4.お客様の活用事例

5. AI-OCRと自動化ツールの組み合わせ

6.会社紹介

AI-OCRとは

AI-OCR (Artificial Intelligence - Optical Character Recognition) は、AI (人工知能) を活用して紙の書類や画像内の文字を読み取り、デジタルデータへ変換する技術です。

スキャナやスマートフォンで読み込んだPDF・JPEGなどの画像に含まれる文字を高精度に認識し、編集可能なテキストデータとして活用できます。AIによる学習により精度が向上するため、さまざまな領域での利用が進んでいます。

AI-OCR技術の進化

- **手書き文字への対応**：癖のある手書き文字や崩れた文字でも、読み取ることが可能に。
- **AI-OCRによる継続的な学習**：ユーザーが読み取り間違いを修正した結果を学習し、使えば使うほど賢くなり、最適化されていく。
- **対応フォーマットの増加**：定型帳票だけでなく、取引先によってレイアウトがバラバラな書類（非定型帳票）でも、対応可能に。

✓高精度認識

✓多様な文書対応

✓手書き文字対応

✓多言語対応

AI-OCRによるデータ化の流れ



例えば、手書きの申込書や請求書、帳票類を自動でデジタル化し、API連携などで業務システムへ連携できます

OCR・AI-OCR・次世代AI-OCRの違い

従来のAI-OCRは、OCRにAIを組み込むことで手書きや帳票の読み取り精度を高めてきました。一方で、項目位置の指定や帳票ごとの設定が必要となる場合があり、非定型帳票では運用負荷が課題になりやすい傾向があります。

次世代AI-OCRは生成AIを活用し、書類の構造や意味を理解しながら必要項目を抽出できるため、レイアウトが異なる帳票にも対応しやすいのが特徴です。

| | OCR | AI-OCR | 次世代AI-OCR |
|----------|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 仕組み | あらかじめ設定したルールやフォントパターンに基づいて文字を認識 | OCRにAI（機械学習）を組み込み、認識精度を向上 | 生成AIを融合し、文字+構造+意味を理解して抽出 |
| 対応文字 | 主に活字のみ対応 | 活字に加え、手書きにも対応範囲が広がる | 手書き・表記ゆれにも対応しやすい |
| 対応フォーマット | 定型帳票が中心 | 定型～半定型が中心 | 非定型帳票にも対応しやすい |
| 項目抽出の考え方 | 決まった位置の文字を読み取る | 読み取り位置（座標）やテンプレート設定が必要な場合が多い | 位置指定を前提とせず、指示に基づき抽出可能 |
| 精度向上の仕組み | 精度向上には専門的な調整が必要 | 継続的な学習により使うほど精度が向上 | 生成AIによる文脈理解を活用し、帳票変更にも対応しやすい |

AI-OCR市場規模と成長予測

OCR市場は堅調に拡大を続けており、とくにAI技術を活用したAI-OCRが高成長を牽引しています。デロイトトーマツ ミック経済研究所の「OCRソリューション市場動向 2024年度版」によると、OCRソリューション市場は2022年度に540億円超、2023年度には570億円超と拡大しており、今後もAI-OCRの伸びを背景に安定した成長が見込まれています。

✓ 汎用OCRは横ばいで推移

汎用OCRは金融や公共分野を中心に大規模案件で利用されており、価格が安価なため更新需要は続いている。しかし市場全体としては横ばい。

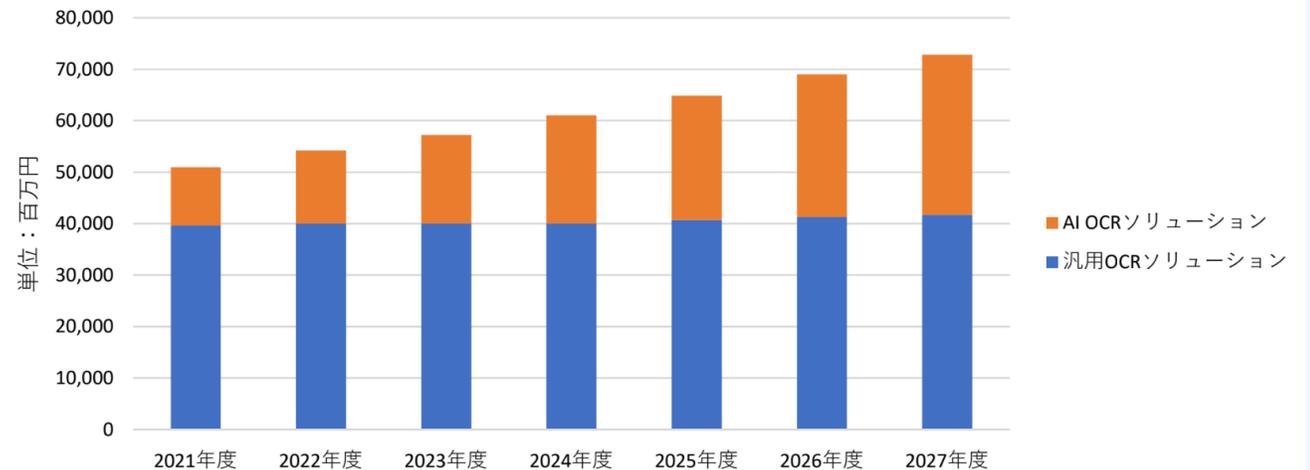
✓ AI-OCRは20%前後の高成長

AI-OCRは年間20%前後の高成長を維持しており、市場拡大の主演となっている。生成AIの活用により文字認識精度がさらに向上し、これまで対応が難しかった非定型帳票の読み取りに活用。

✓ 利用シーンの拡大

AI-OCRは請求書や領収書などの帳票処理に加え、申請書、受発注書、会計資料、報告書など幅広い分野で利用が広がっている。また、ERPや会計システムといった基幹システムとの連携により、業務全体の効率化に寄与。

OCRソリューションのカテゴリー別市場中期予測



AI-OCRが市場成長を主導、汎用OCRは横ばい

出典元：(1) デロイトトーマツ ミック経済研究所株式会社「[OCRソリューション市場動向2024年度版](#)」「[OCRソリューション市場動向 2025年度版](#)」

(2) PATPOST「[AI-OCR市場のサービス別シェア状況 | 市場規模や評価軸について](#)」

企業が抱える書類管理の課題



埋もれたデータ・情報

過去の紙文書やPDFに重要情報が埋もれ、検索・再利用が難しい状態となり、業務価値を十分に発揮できていない。



入力負荷とミス

手動での入力・照合・チェックに時間がかかり、ミスが発生しやすい。作業が属人化し、確認工程も増えて工数が膨らむ。



フォーマットの乱立

現場や取引先ごとに書類形式が異なり、処理ルールが統一できない。集計・分析の前に整形作業が発生し、運用負荷が増加する。



検索性の低さ

紙・PDFが部署ごとに散在し、必要な情報をすぐに探せない。過去データの参照にも時間がかかり、業務が滞りやすい。



ガバナンス負荷

各拠点や部門で書類管理が分散し、保管・管理ルールの徹底が困難。法令順守やセキュリティ対策が複雑化し、漏れ・紛失のリスクが高まる。



デジタル化が進まずDXが停滞

紙やPDFが中心のままではデータ活用が進まず、業務自動化やDX施策の実行が遅れる。リモート環境にも対応しにくい。

紙による手作業が多いほど、工数増加・ミス・属人化・検索低下が発生し、データ活用とDXが進みにくくなる

非定型書類のデータ化が従来のAI-OCRでも難しい理由



記載様式・用語・単位がバラバラ

取引先によって書式や用語、単位表記が異なるため、統一的な処理が困難。同じ「価格」でも表記方法が複数存在する。



複雑な表構造

レイアウトのズレ、結合セル、複雑な表構造により、セルの関係性や階層構造の理解が困難。



品質のばらつき

手書き文字、FAXの歪み、スキャン品質の低さにより、文字認識の精度が大きく低下。



表記揺れの吸収

社名や商品名の表記揺れ（「株式会社」「(株)」「(株)」など）を正確に統一できず、マスタ情報との突き合わせが難しい。



複数ページの横断処理

複数ページに分かれた情報を関連付けて抽出する必要があり、ページ間の文脈理解が必要。



設定・メンテナンスの負荷

従来のAI-OCRでは帳票ごとに設定が必要で、フォーマット変更のたびに再設定が必要となる。

非定型帳票は形式も内容もバラつきが大きく、従来のAI-OCRでも高精度に読み取ることが難しかった

RECERQA Scanなら 非定型帳票の課題を解決できます

AI-OCR「RECERQA Scan」とは

次世代AI-OCR「RECEQA Scan」とは

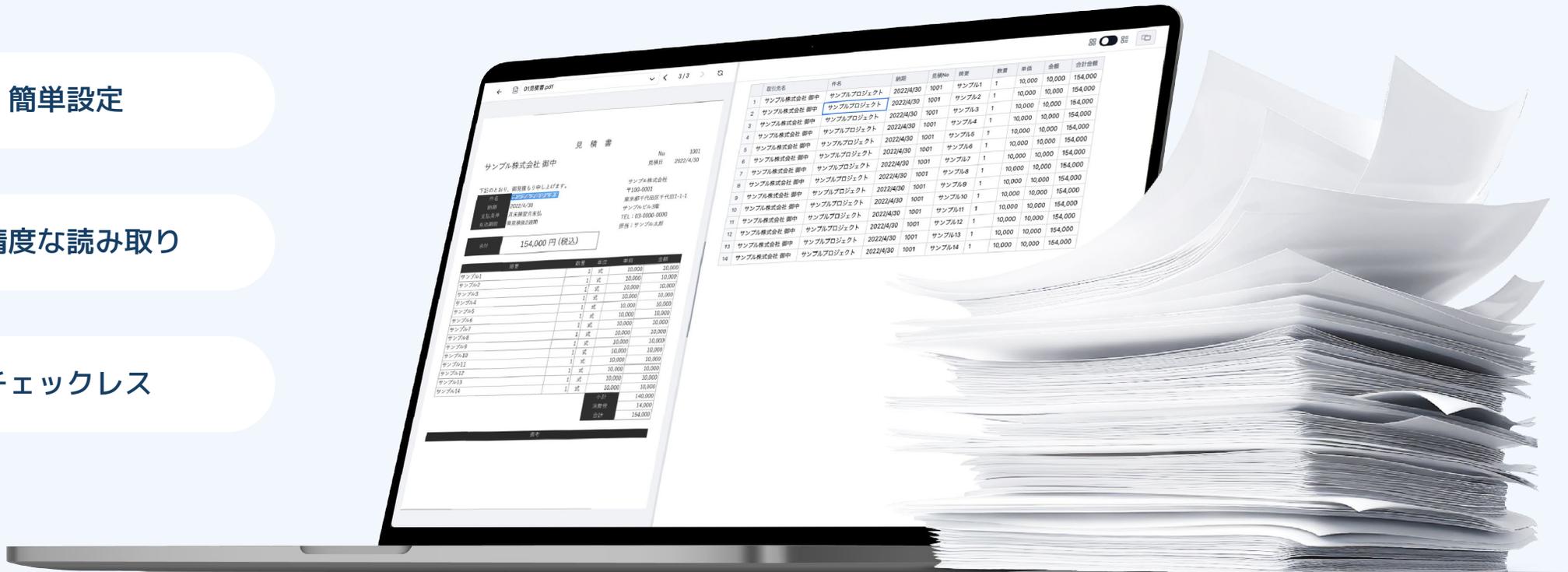
今までAI-OCRを諦めていた人へ、新たな選択肢が登場

非定型書類を"データ資産"に変える次世代AI-OCR

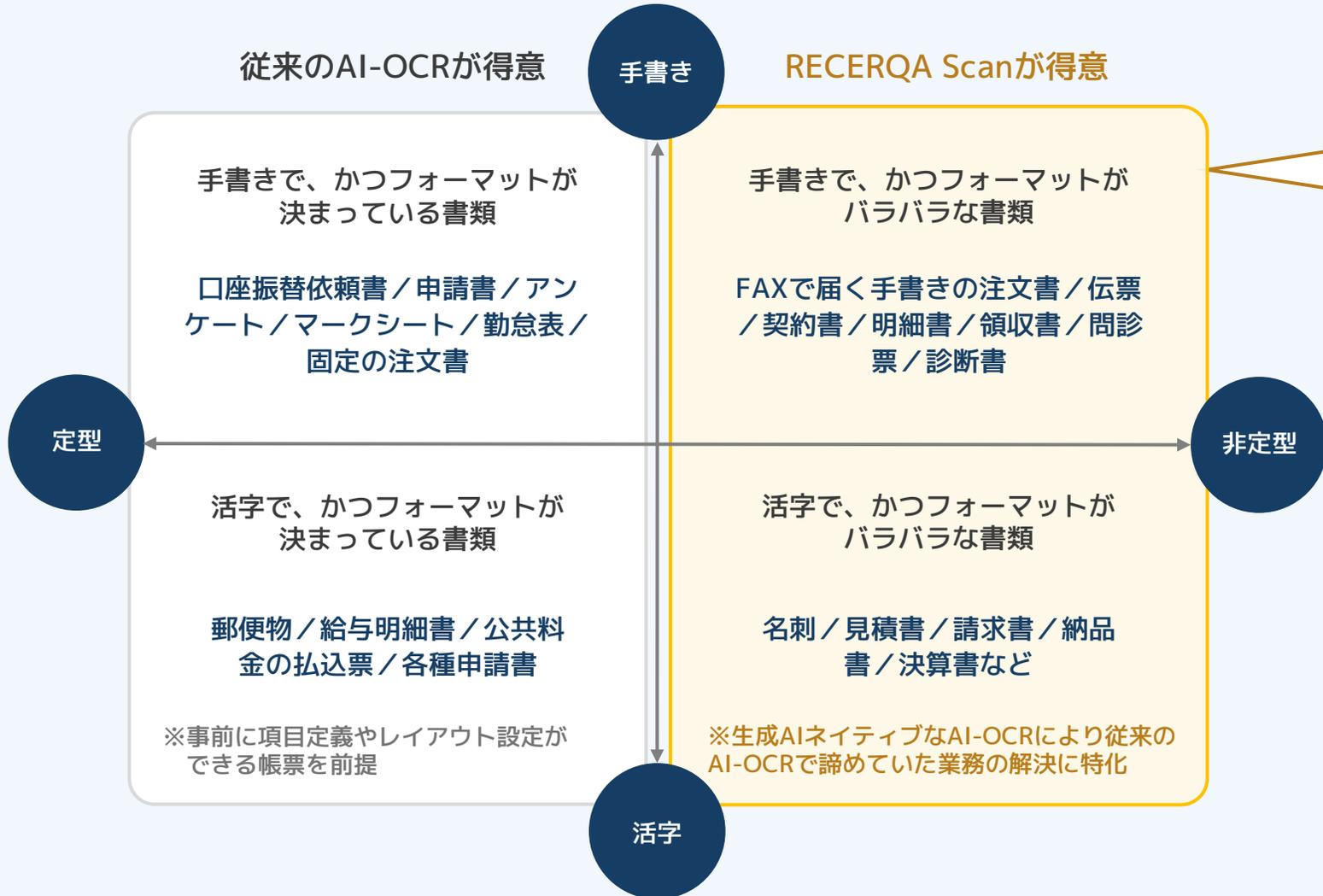
簡単設定

高精度な読み取り

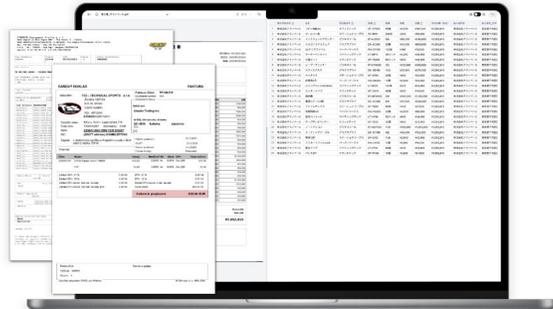
チェックレス



非定型帳票におけるRECERQA Scanの位置づけ



RECERQA Scan



RECERQA Scanは生成AIネイティブなOCRで、日本語で読み取りたい項目を指示するだけでデータ抽出が可能です。項目位置や座標指定をせず、日本語の指示（プロンプト）で抽出可能。

取引先ごとにフォーマットが異なる契約書や請求書など、非定型帳票が多い業務に最適です。

RECERQA Scanの特長①：簡単設定

AI-OCR「RECERQA Scan」なら、シンプルな設定であらゆる書類をデータ化。従来帳票の項目ごとに必要だった座標設定が不要です。必要な項目を指定するだけで生成AIが特定の場所を判定して抽出するため、担当者による設定の負担を大幅に軽減します。

従来のAI-OCRサービス

フォーマットごとに読み取りたい項目の【座標位置】を設定

| No. | 商品名 / 型番 | 数量 | 単価 | 金額 |
|-----|-------------------|-------|---------|-----------|
| 1 | ノートパソコン / NB-001 | 5 台 | 220,000 | 1,100,000 |
| 2 | ワイヤレスマウス / WM-210 | 2 個 | 4,500 | 9,000 |
| 3 | プリンター用紙 / PP-A4 | 3 セット | 6,000 | 18,000 |
| 4 | ボールペンセット / BP-15 | 10 個 | 400 | 4,000 |

レイアウトの異なる帳票ごとに設定が必要で、設定の工数・手間が多くなりがちに。

RECERQA Scan

フォーマットごとの設定が不要。
読み取りたい項目を【日本語】で指示するだけ

| 列 | 取得項目 | カスタムプロンプト |
|---|------------------------------|---|
| A | <input type="checkbox"/> 顧客名 | スターティアレイズ株式会社以外の会社名を抽出 |
| B | <input type="checkbox"/> 請求日 | 令和の年号は西暦に変換。令和8年8月8日の場合、2026年8月8日と記入します |
| C | <input type="checkbox"/> 住所 | 都道府県と市町村のみ抽出 |

フォーマットがバラバラな帳票でも、設定の負担なく簡単にデータ化。

RECERQA Scanの特長②：高精度な読み取り

「RECERQA Scan」なら、大手製品比で約**+25%の非定型帳票の読み取り精度***を実現。多言語帳票や手書き帳票、写真で撮った帳票、ゴム印、図面、記号（○, ×, //, φ, √等）など従来のOCRでは制約があった書類も読み取り可能です。

RECERQA Scan

97.67%



FAX、PDF、
複雑な表など
形式バラバラ
でもOK

従来のAI-OCRサービス

73.99%



注文書50種類、合計2,068項目を読み取った結果の正解率

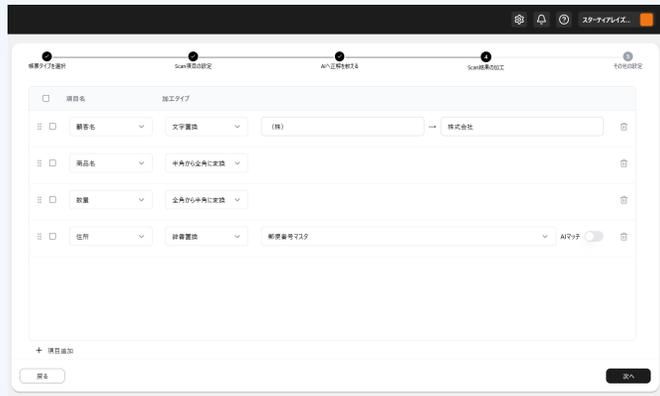
(注文日、注文番号、取引先、合計金額、商品番号、商品名、数量、単位、単価、小計の10項目を取得)

※導入企業での検証結果（異なる50フォーマットを1つの設定でOCRした結果）

RECERQA Scanの特長③：チェックレス

「RECERQA Scan」なら、読み取りだけでなく、従来のチェック業務まで改善可能。高精度に読み取るだけでなく、表記揺れの自動置換、マスタ情報への変換、AIでプロンプト作成など、業務を抜本的に改善する機能が多数搭載されています。

AIマッチで表記揺れを統一



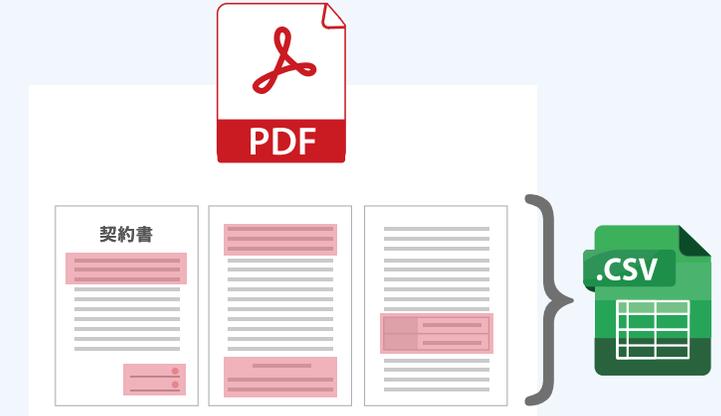
表記の揺れや不完全な情報も、生成AIが正しい値として補完します。例えばカ) や (株) といった表記ゆれや全角半角の統一なども可能です。

AI仕分け



一括で書類をアップロードすると、AIが種類別に帳票仕分けを行い、OCRまで一気に通貫で完了します。

複数ページにも対応



複数つづりの見積書や契約書などを、ファイル単位で読み取り、統合された1つのレコードとして出力できます。

RECERQA Scanが読み取り可能な書類例

RECERQA Scanは、あらゆる業界・業種の紙媒体やPDFの非定型帳票に最適です。業種・業界、部門を問わず幅広いシーンで導入されており、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進しています。

| | | |
|-------------|------------|---------|
| 請求書 | カード明細/レシート | 見積書 |
| 納品書 | 注文書・発注書 | 検査成績書 |
| 成分表 | 製品カタログ | 健康診断書 |
| 商品規格書 | 契約書/覚書 | 所得証明書 |
| 医療費 領収書/明細書 | 作業完了報告書 | 検診表 |
| 車検証 | 自動車登録関連書類 | 自賠責保険書類 |
| 設計図面 | ミルシート | 賃貸契約書 |
| 入居申込書 | 売買契約書 | 工事発注書 |

< AI-OCRの導入が多い職種 >



人事・労務



経理・会計



総務・管理



営業

その他、製造業では品質保証部、医療業では医事課、運輸業では倉庫管理部など業界によってさまざまな部門が導入しています。

食品メーカー×営業部門 × 注文書のデータ入力自動化

注文書の発注元と注文商品を自社のコードに置換してシステムに連携

業種: 食品メーカー

売上高: 1,500億円~2,000億円

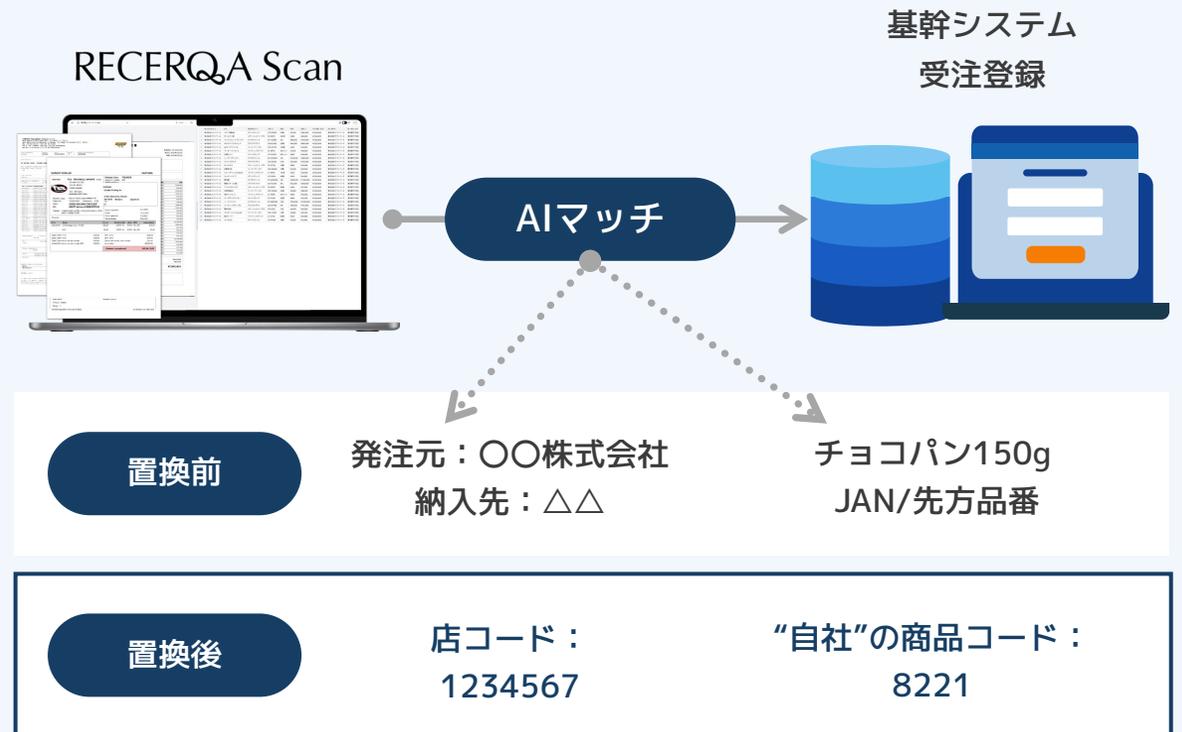
【内容】

取引先ごとにバラバラな膨大な注文書から発注元、納入先、注文商品を読み取り、納入先、商品のマスタ番号に置換し、RPAで基幹システムに連携。

【導入効果】

これまで手動で入力と転記をしており多大な工数を掛けていたが、RECERQA Scanにより100%の精度で読み取りが実現。月間約3,000枚の帳票の処理が自動化。

※リチエルカ社導入事例



単一の設定で、非定型の注文書も正確に読み取り可能。
AIが揺らぎを許容して、自社のマスタコードに正しく置換。

OA機器商社×経理部 × 口座振替依頼書の入力を自動化

OCRの概念が一変！5年間探してきたゴム印を読み取るAI-OCR

業種: OA機器商社

売上高: 10億～100億円

【内容】

OA機器の設置作業後の「作業報告書」のチェック業務、口座振替依頼書のデータ入力を自動化。

【導入効果】

従来の枠を指定するタイプのOCRでは不可能だった文字の読み取りが実現。

一次チェックを代替し、手入力は最大7割の削減効果を実感。

※リチエルカ社導入事例

| | |
|-------|-------------------------------------|
| フリガナ | カブシキガイシャ [REDACTED] ダイヒョウトリシマリヤク |
| 口座名義人 | 株式会社 [REDACTED] 代表取締役 [REDACTED] |

口座名義人

株式会社 [REDACTED] 代表取締役 [REDACTED]

口座名義人_フリガナ

カブシキガイシャ [REDACTED] ダイヒョウトリシマリヤク [REDACTED]

- ・ゴム印も手書きも高精度に読み取り
- ・枠からはみ出したフリガナも認識

損害保険 × 保険金の審査業務の自動化

保険金申請の審査における業務フローの全体を自動化

業種: 損害保険

売上高: 10億~100億円

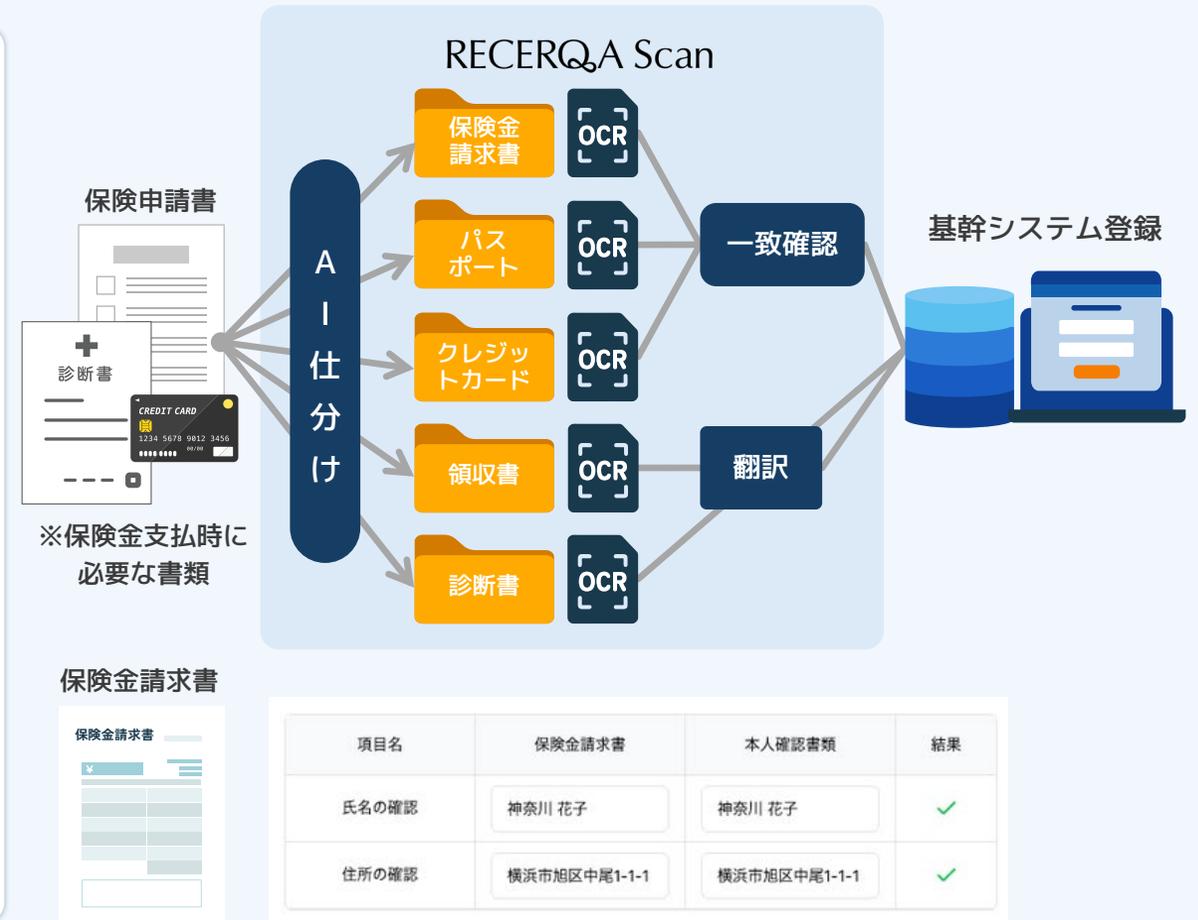
【内容】

保険金請求の審査フローにおける、仕分け、データ入力、書類間のデータ突合を自動化。

【導入効果】

紙の申請書は入力・確認の工数が多く人的工数とミス抑止が課題だった。書類の仕分け/入力/チェックの3ステップ一気通貫での自動化により工数を大幅に削減。

※リチエルカ社導入事例



費用について

費用・プラン

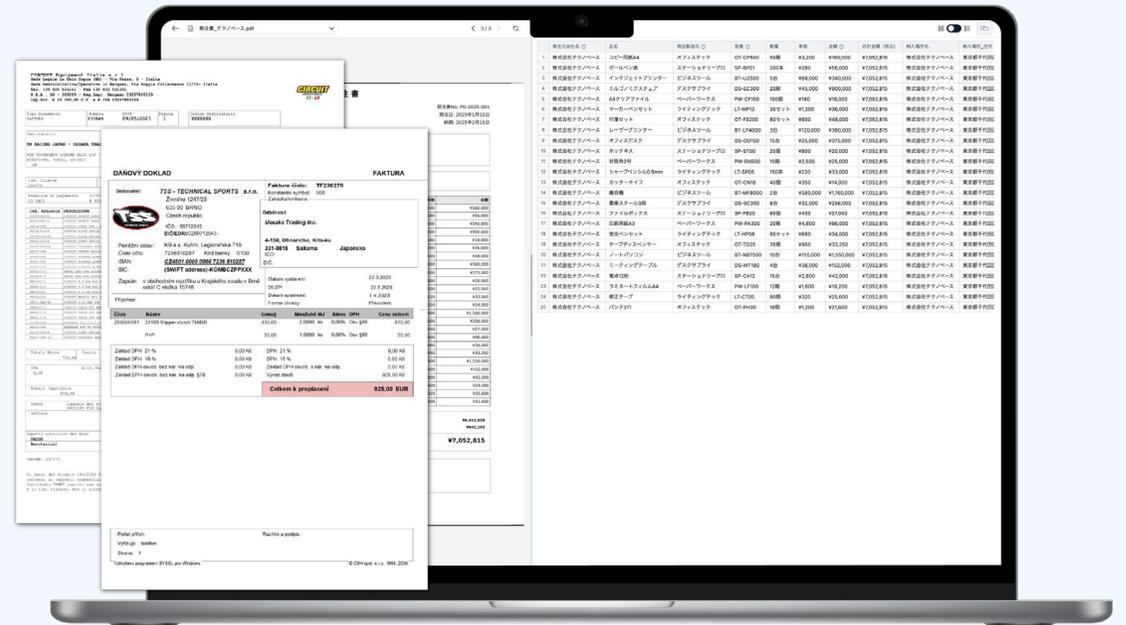
RECERQA Scanのご利用料金は、読み取り対象となる帳票の種類や枚数、利用方法に応じて最適なプランをご提案しております。そのため、料金は一律ではなく、詳細は個別にご案内しています。

まずは業務内容や想定枚数をお伺いし、無駄のない形での導入可否や費用感をご案内します。料金の詳細についてはお問い合わせください。

RECERQA Scan

＼無償帳票読み取りも可能です！

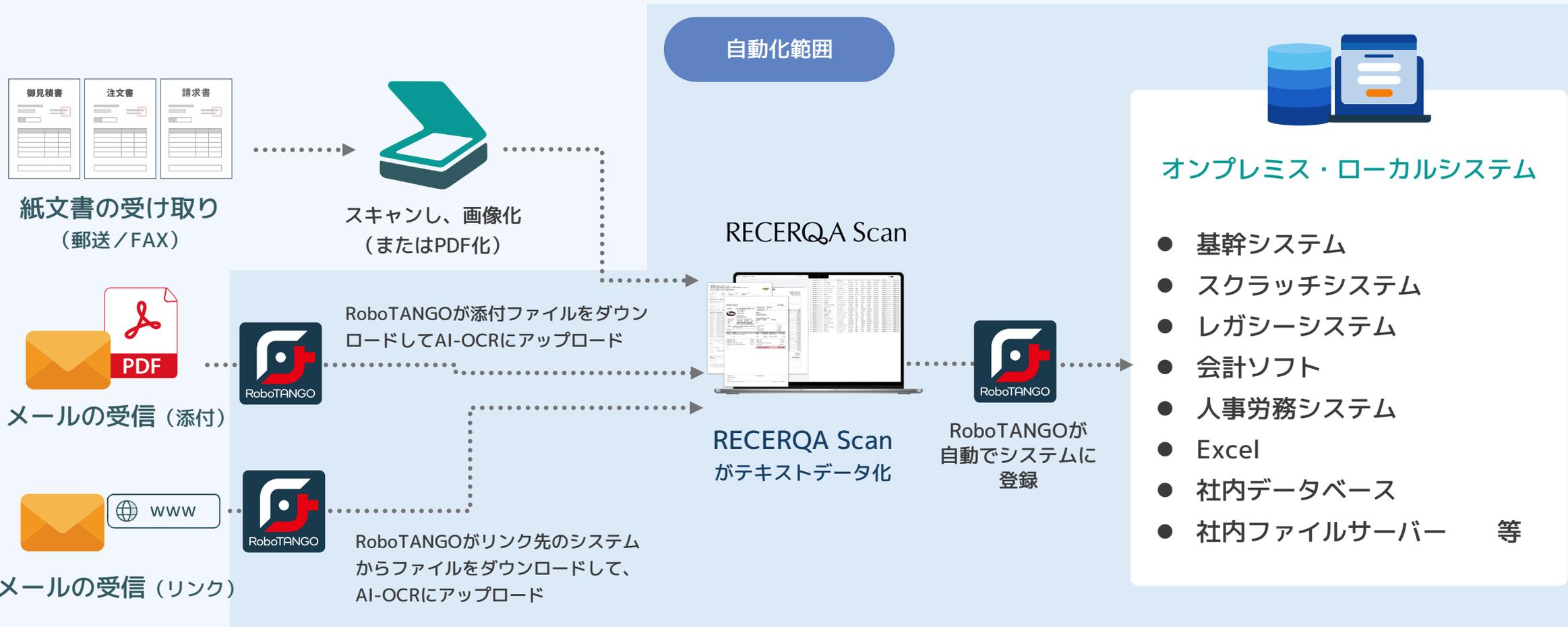
問い合わせ



RECERQA Scanは、RPAやiPaaSなどの自動化ツール
と組み合わせることで業務全体を自動化できる

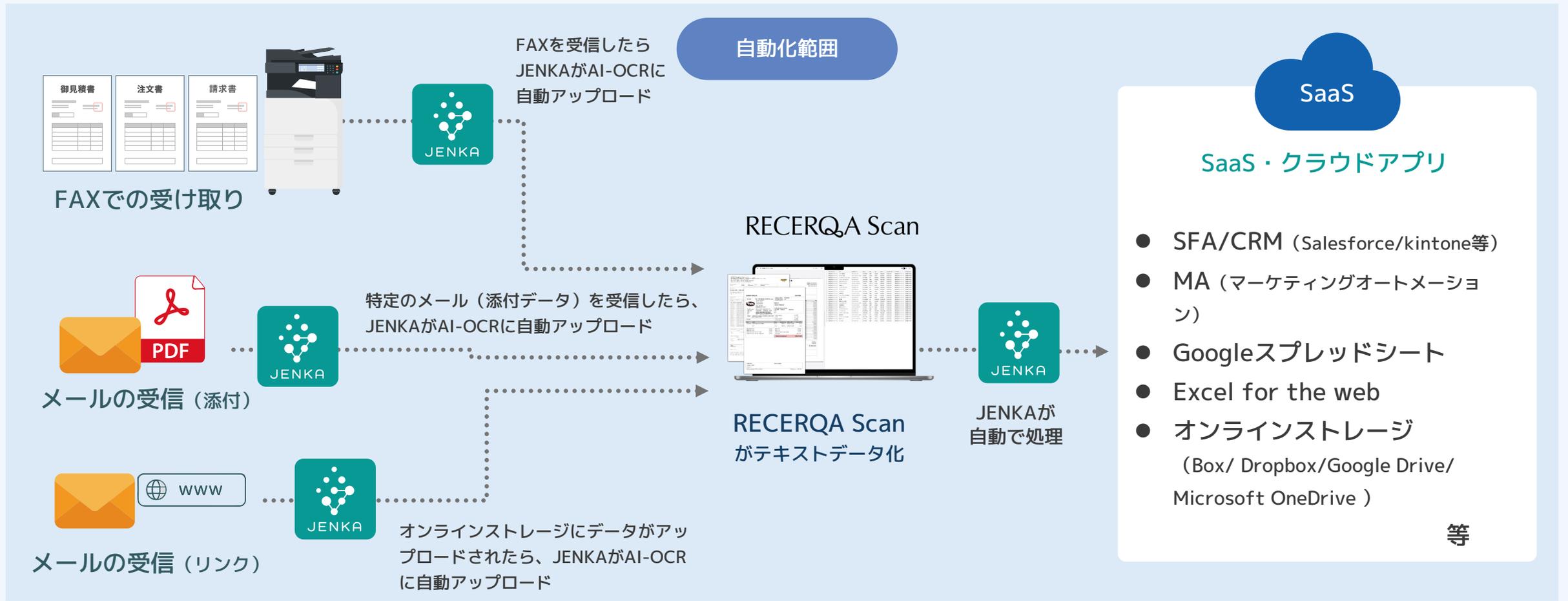
RECERQA Scan + RPA「RoboTANGO」による自動化イメージ

AI-OCR「RECERQA Scan」とRPA「RoboTANGO」の組み合わせによって、RECERQA Scanで読み取りテキストデータ化した情報を、RoboTANGOが基幹システムやスクラッチシステム、レガシーシステム、Excelなどのローカルシステムに自動入力することが可能です。



RECERQA Scan + iPaaS「JENKA」による自動化イメージ

AI-OCR「RECERQA Scan」とiPaaS「JENKA」を組み合わせることで、RECERQA Scanで読み取ったテキストデータを、SaaSやクラウドサービスへ自動連携することが可能です。API連携により、手作業を介さずにデータ登録・更新を実現します。



RECERQA ScanはRPA・iPaaSと組み合わせることで効果を最大化

RECERQA Scanは、非定型帳票を含む書類を高精度にデータ化できるAI-OCRですが、OCR処理の前後には「受信・整理・登録」などの作業が発生します。RPA「RoboTANGO」やiPaaS「JENKA」と組み合わせることで、OCRを起点とした業務全体の自動化が可能になります。



- 初心者でも使いやすい設計

専門的なプログラミング知識がなくても操作することが可能

- 操作を記録する録画型RPA

実際の画面操作を録画して記録することで、ロボットを作成可能

- ローカル・レガシー環境に対応

オンプレミスの基幹システムやレガシーシステム、Excel業務の自動化に最適



- ノーコードでのデータ連携

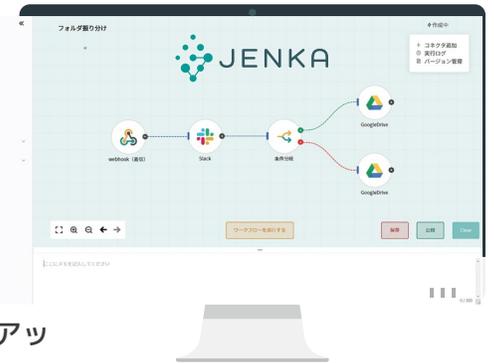
API連携が実務担当者でも簡単に設定できる

- SaaSとの親和性

複数のクラウドサービス間の一元管理とデータ連携を実現

- 安定した自動実行

メールを受信したら、オンラインストレージにアップロードされたらなどトリガーを起点に自動実行



RECERQA Scanで「読む」を自動化し、RPA・iPaaSで「つなぐ・登録する」まで自動化することで、OCRを起点とした業務全体の効率化が実現できます。

会社概要

| | |
|--------|---|
| 商号 | スターティアレイズ株式会社 スターティアホールディングスグループ 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3393） |
| 本社所在地 | 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階 |
| 設立 | 2017年11月10日（営業開始日：2018年4月2日） |
| 代表者 | 代表取締役社長 鈴木 健太 |
| 資本金 | 9,000万円 |
| 代表電話番号 | 03-6316-1488 |
| 事業内容 | バックオフィスDX支援事業 |

ISMS 認証

PMS 認証

スターティアグループは
ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の
国際規格「ISO/IEC27001」並びに国内規格
「JIS Q 27001」の要求事項に適合していることを証されて
います。



スターティアグループは
PMS（個人情報保護マネジメントシステム）の
国内規格「JIS Q 15001」の要求事項に適合していることを
証されています。

グループ概要

| | | | |
|---|-------|----------------------------|---|
|  | 商号 | スターティアホールディングス株式会社 |     |
| | 本社所在地 | 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階 | |
| | 設立 | 1996年2月21日 | |
| | 代表者 | 本郷 秀之 | |
| | 資本金 | 824,315千円 | |
| | 上場取引所 | 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3393） | |





働き方の選択肢を増やす

事業領域

労働力不足という社会課題に対して
仕事の効率を上げる、
「簡単、便利、安心」なサービスを提供。

お問い合わせ先

AI-OCRや業務自動化、効率化に関するお問い合わせはこちらから

お電話でのお問い合わせ先

 **0120-277-031**

営業受付時間 9:00~18:00 (土日・祝祭日除く)

お問い合わせフォーム



[お問い合わせフォーム](#)

メールでのお問い合わせ先



Mail: info@reiworq.com

本資料の掲載内容（画像、文章等）について

本資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、
スターティアレイズ株式会社への事前の許諾なく、
複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます。



※本資料で使用している会社名及び製品名・ロゴマークは、
各社の商号・商標または登録商標です。